

(3) WWL (ワールド・ワイド・ラーニング) コンソーシアム連携校との交流

ア 令和2年11月21日(土) SDGs 生徒交流会(4名)

WWLコンソーシアム連携校の生徒との交流会に4名の生徒が参加した。当日までの事前準備は全てオンライン上で行われ、参加した4名の生徒たちは、広報係としてその役割を果たすとともに、自校の取組について、発表準備に熱心に励んだ。これにより課題研究の過程を振り返り、自分の言葉で語ることで、自身の実践内容について理解を深めていたように感じる。11月21日当日は、運営企画委員として2名の生徒が現地(関西学院大学高等部)へ赴き、他校生とともに、講演を聞いたり、ディスカッションに参加するなどした。短い時間ではあったが、同じ部屋に居合わせた高校生同士が、昼食を取りながら話をする様子も見られ、改めて生徒たちの学ぶ姿勢に、大人が刺激を受けた1日でもあった。これを機会にSDGsに興味をもち、それぞれの目標について、理解しようとする姿勢が見られるようになった。以下、当日のプログラムを記載する。

- ① AI活用 for SDGs 講演(25分間) 担当: 巳波 弘佳(関西学院大学理工学部教授)
- ② SDGsに関する講演①(45分間) 担当: 田瀬 和夫(SDGパートナーズ有限会社代表取締役CEO)
- SDGsに関する講演②(45分間) 担当: 岸 博幸(慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授)
- ③ ディスカッション(30分間) 上記1.と2.の講演に基づいて行うディスカッション
- ④ 本学のWWL拠点校・連携校による取り組み発表(90分間 ※1校あたり発表10分・質疑応答5分)



(写真は当日の会場の様子)

イ 令和3年3月29日(土) International Online Meeting に向けて

企画運営委員会として2名が参加したいと申し出があった。2月4日に初回オンライン会議があり、生徒はビデオ会議システムを用いて参加をした。当日までの約2か月間、連携校の生徒たちと、企画運営に本人たちも意欲的に取り組んでいる。ただ交流をするというのではなく、目的をもった交流をすることの意義も感じつつある。対面での交流も待たれるが、オンラインによる交流の新たな可能性も探ってくれるものと期待する。

〈 次年度に向けて 〉

上記の行事に加えて、各種オンラインイベントへの参加に増加傾向が見られる。対面による行事の開催が困難な中、外部のオンライン行事についてはGoogle Classroomを通じて生徒に周知するようにした。生徒たちは自分の進路に係る内容のもの、関心のあるものについて、個人で申し込みをした。オンライン開催だからこそ、移動時間や手段を心配することなく、積極的に参加をしていた。今後もこの形での開催は続く可能性は高く、生徒への周知については、学年と連携を取りながら進めていく。

- ・「国連ユースボランティアオンライン帰国報告会」(関西学院大学 主催)
日 時: 2020年9月22日(火・祝) 13:30-15:30 (13:15 開場)
- ・「国境なき医師団高校生向けオンライン講演会」(昭和女子大学高校【グローバル型】主催)
日 時: 2021年2月13日(土) 14:30~16:00